



令和4年 迎春(干支は壬寅)

令和4年、新しい年が始まりました。本年もよろしくお祈りいたします。



さて、本年は寅(とら)年です。通常十二支は、その年を12種類の動物になぞらえたもので、年の他にも時刻や方角を表すことがあります。この十二支が「干支」の意味で用いられることがありますが、干支とは本来「十干十二支(じっかんじゅうにし)」を略した呼び名で、「十干(じっかん)」と十二支を組み合わせたものです。「十干」とは、甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸の総称で、もとは1から10までものを数えるための言葉です。令和4年は十二支でいうと「寅年」、十干では「壬」となり干支は「壬寅(みずのえとら)」となります。「壬」が持つのは、女性のお腹に子供を宿す「妊」の一部であることから「はらむ」「生まれる」という意味です。また「寅」は「蟻(みみず)」を表し、春の草木が生ずるという意味を持っています。どちらも力強い生命の誕生を彷彿とさせます。そのため「壬寅」は、厳しい冬を越えて新しい命が誕生する年だとされています。さあ、皆さんもこの始まりの年に、何か新しいことにチャレンジしてみてもはどうでしょうか？



租税教室(夜間部)

1月18日(火)夜間部C組の生徒に、和歌山税務署の講師による、租税教室を実施しました。これから社会人として納める税金は、社会共通の費用をまかなうための会費であると説明を受け、税金の使い道を教わりました。また、学生でもアルバイトの給与収入が、一定額を超えてしまうと本人が所得税を納めなければならないことや、親族が扶養控除を受けられなくなるなど、学生にとっても注意することがありました。



少子高齢化による日本の財政問題は歳出が増加し、働き手への負担が大きくなってしまいますが、自分たちの納める税金によって、社会が機能していくことを知る機会となりました。

年金セミナー(昼間部)

1月19日(水)田辺年金事務所より講師を招き、昼間部5,6組の生徒に年金セミナーを行いました。年金の話なんて、まだまだ先のことだと思っていた生徒も、年金をもらうためには、公的年金に加入し保険料を払わなくてはならないことを知り、大変身近な問題であると受け止めていました。また、経済的に困難な場合にも、学生納付特例のような免除や猶予の制度を利用しながら加入する方法を紹介していただきました。自立したときに必要な生活費を計算してみると、想像以上にお金が必要で、平均寿命が延びているため、仕事を退いてからの期間にも同様の生活費が必要となるため、年金の受給は不可欠です。20歳になると加入義務が発生しますので、講演内容をしっかり覚えておきましょう。



2月の主な行事など

- 1日(火) 禁煙教室(昼間部1年) 人権映画鑑賞会(夜間)
- 3日(木) ようこそ先輩(夜間)
- 11日(金) 建国記念の日
- 15日(火) 保護者会
- 16日(水) 追認定考査(～2/17) チャレンジ考査(～2/21)
- 17日(木) 第4回定期考査時間割発表
- 21日(月) 一般出願受付(～2/22)
- 23日(水) 天皇誕生日
- 24日(木) 第4回定期考査(～3/2)
- 25日(金) 式場準備
- 28日(月) 卒業式予行
- 3月1日(火) 卒業式



校内の風景

1月25日(火)昼間部のLHRで人権学習を行いました。SNSによるトラブルについて学習しました。スマートフォンの普及により、様々な形でコミュニケーションをとることが出来ます。安易な気持ちでした行動が、取り返しが付かなくなり、被害者にも加害者にもなりえます。そんな時代だからこそ、人への思いやりを大切にしたいものです。



図書館では一人暮らし特集が展示されています。高校を卒業し、いよいよ独り立ちの時期を迎えています。期待や不安、様々な気持ちでいっぱいだと思いますが、前を向いてしっかり歩んで行きましょう。

